

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5 年 4 月 4 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200825		
法人名	医療法人 好縁会		
事業所名	グループホームふれあい東野		
所在地	〒731-0111 広島市安佐南区東野三丁目30番21号 (電話) 082-876-3122		
自己評価作成日	令和5年3月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490200825-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年3月28日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

○事業所全体の行事ではコロナ禍で外出行事が難しい中、事業所内での行事が充実出来る様に努力している。定期的に御家族に御利用者様の御様子をお便りにて連絡・相談・報告し、信頼関係の構築に努めている。御利用者様の安全・安心な生活が維持出来る様に取り組んでいる。
○御入居者の担当制をとり、担当者を中心に個別ケアの実現と生活意欲の向上を目指し、ご家族様と連携を図っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

法人母体が医療法人という強みをケアに活かしており、訪問看護との連携や時間に制約のない医師との連絡体制による医療サポートの充実を図っている。毎年度、目標を掲げ、法人内の研修体制の充実やホームが目指すべき理念及び方針を明確にしている。法人全体での研修も豊富で様々なサポート体制があり、職員個々がスキルアップできる制度を導入し、職員の介護技術の向上を目指している。最近の取り組みとして、食事に力を入れており、職員からの提案で昨年度から毎月行事食を取り入れ、中華パーティー、コッペパンパーティー、焼肉パーティーなど、お菓子作りを含め食を楽しめる工夫を行っている。面会は、窓越しの面会から玄関先での面会に切り替え、職員体制や気候が良ければ近隣を散歩している。また、お墓参りや短時間の外出など新型コロナウイルス感染症対策に見合った工夫をしている。

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人の経営理念を各ユニットに明示し朝礼時に唱和を行い、理念の共有、実践につながる様、努めている。当事業所のサービス方針及び事業計画を作成し計画に基づいたサービスが提供でき理念の達成にむかう様、努めている。	法人理念をもとに事業所方針、ねらい、取り組みを明確にし、年間目標を掲げ取り組んでいる。始業前に唱和することで目指すべきケアを念頭に意識統一を行っている。職員のチャレンジシートを活用し、年2回の職員面談を通して管理者からフィードバック出来る体制を整えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナが落ち着いた際は近隣のスーパーや公園に職員と散歩や外出していた。施設内での行事に力を入れ、庭の畑での野菜作りや草取りなどを隣家のお力添えを頂いている。	新型コロナウイルス感染状況に応じて、公園や買い物など外出をしている。隣家地主へ地域状況について相談をしている。コロナ禍前は、家族や周辺の地域の方へ案内をし、毎年のお盆前は焼肉パーティーを開催するのが恒例であった。地域との関りが少ない中で事業所内行事を充実させている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	施設見学希望や入居申込のお問い合わせでは、グループホームでの生活、認知症ケアについて理解して頂ける様に丁寧に説明する様に努めた。介護に関する相談を受けた際にも誠意を持って対応をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議を书面開催し、頂いたご意見や地域の活動状況を御利用者の日常のケアやサービス向上につながる様に努めている。	現状下では当会議を書面にて行っている。地域包括支援センター職員からは意見のフィードバックがある。転倒を防ぐために夜間はなるべく良眠して欲しい利用者対策について、膝サポーターの装着、ポータブルトイレの位置、ラバーシートの位置など環境整備を整えた例がある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議へ書面や電話連絡での説明・参加・意見聴取に努め、通常開催が可能になった際は、積極的な情報収集やコミュニケーションを図れる様、努めている。	地域包括支援センター職員から利用相談がある。運営推進会議録や運営状況により電話やFAXのやり取りをし、報告や情報交換などで連携、協力関係を構築している。認知症リーダー研修や市主催の研修案内もあり、研修に参加している。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所内研修等で身体拘束防止について学ぶ機会を設け情報の共有を行っている。現時点で身体拘束はないが今後も行われない様、努めている。運営推進会議では委員会を開き、参加者の方にも意見を頂いている。	年2回の研修を通して、知識習得や職員のスキルアップに繋げて、身体拘束をしないケアを目指し取り組んでいる。年6回の委員会を開催し、運営推進会議の中で拘束例はない旨を報告している。利用者に寄り添うことにより、スピーチロックをしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	法人内外の研修で情報の共有を行い、御利用者のペースに合わせ、寄り添ったケアに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度等、現在、利用されている御利用者はいないが、今後、必要性が出た時に対応出来る様、制度の理解と御家族等関係者と連携を図っていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書及び契約書、各種同意書を提示し具体的に説明するよう努めている。御利用者、御家族からの不安や疑問点は解消出来る様、適切な説明に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	御家族、面会時には、御入居者の状態報告に併せて、御家族の意向をお聞きする様に努めている。	利用者個々に担当職員を設けている。月1回の便りに、行事の写真、利用者の様子や担当職員からのコメントを送付している。早い時期からWi-Fi環境を整え、遠方の家族とはビデオ通話(zoom)で対応している。例えば、家族から『散髪へ連れて行きたい』との意見から他の理美容室へ繋がった例もある。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	各ユニットのミーティング開催時に管理者が出席し職員の意見を聞き、都度、運営に反映できる様に努めている。ミーティング事前に書面でリーダー中心に意見を聴取し開催を行っている。尚、出席出来なかった職員も把握出来る様、議事録を作成し回覧ができるように努めている。	年6回のユニット合同でミーティングを開催し、職員ごとの考えや意見の取りまとめを行っている。年2回の職員面談を行い個人目標の達成状況の把握や修正に繋げている。法人グループの毎月の管理者会議では、ホームでの現状報告をする中で他の事業所の取り組みを参考にしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員がチャレンジシートという年度目標を立て達成に向け取り組んでいる。それに加え、考課表、職務チェックリストでの評価制度があり昇給に反映につなげている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内で教育研修部があり、年間の内部研修の計画があり参加しやすい環境にある。外部研修について職員個別の研修費が予算化しており、職員が自ら意図した研修に参加できる体制がある。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	リモート開催などで法人内・外の研修にて他部署や他事業所（同業者）との意見交換を行い、サービスの質の向上に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前の訪問面談時は管理者、訪問看護師（可能であれば計画作成担当やリーダーも同席）で伺い疑問点や不安な事等、話が出来、適切なアセスメントが行える様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前や契約時等で御家族の要望や不安等を聞き、入居前に頂いた情報を職員間で共有し安心出来るサービスが受ける事が出来る様、努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居相談時、事前面談、契約時等で伺った内容、アセスメントシートを活用しその時に必要なサービスの提供や紹介を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	人格を尊重して共に生活をする視点を忘れず、接遇にも十分配慮している。御本人の生活習慣を把握し、日々の生活の中で取り込まれる様に支援をしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会や電話連絡の際、体調の変化や日々の様子をお伝えする様、御家族より質問や相談に対応ができる様努めている。御本人、御家族との時間を大切にしながら外出や居室で一緒に食事ができる様、支援をしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御家族様以外にも、自宅で過ごしていた時の近所の方や馴染みの方が来所され受け入れを行っている。面会の際は会話の支援を行い継続して御面会頂けるような雰囲気づくりに努めている。個別ケアとして馴染みの場所へ外出が出来る様支援している。	外部とのふれあいが持てない現状で、少しでも関りが持てるように、近くの公園などへ行くことで馴染みの人と出会う機会を設けている。電話の取り次ぎ、絵葉書などでこれまでの人とのつながりを尊重し継続できる対応をしている。携帯電話の持ち込みは可能で家族とも自由に連絡できる環境である。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	リビング内での空間や席の配置を行っている。御利用者同士が関わりが持てる様、職員が声かけ時には会話の橋渡しを行い、支え合えるような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去の際には気軽に立ち寄って頂ける様、話をしている。また可能な限りその後の経過、次の生活場所の支援者に対する適切な情報提供など協力を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御本人の思いを把握し日常生活に取り入れる様にしている。意思疎通や認知症状の部分で把握が難しい場合は普段の生活状況や生活歴や御家族からの情報をもとにミーティングで話し合いを行い支援に努めている。	日頃から生活場面を共にする中で思いや意向の把握に努めている。ケア記録に時間を要していた経緯から令和4年3月から電子化に取り組み、ペーパーレスや記録の効率化を図る事で利用者の支援の充実を図る取り組みをしている。日頃の状況は日々の申し送り、2カ月毎のミーティングで共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御本人様、御家族、関係事業所から御本人の生活歴や生活環境等、情報収集しホームでの生活に活かせる様、努めている。また、入居してから御本人とのコミュニケーションを図りながら新たに分かった情報を共有し支援に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々、御入居者の様子観察に努めている。職員が把握した情報は i pat上の生活状況記録、申し送り等で職員間で情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>御本人様、御家族の意向、要望をお聞きしている。担当職員の意見も合わせて御本人の生活課題と適切な支援のありかたを具体的に記載している。</p>	<p>独自のアセスメントシートを活用し、担当職員が日頃の状況を集約している。利用者・家族の意向を踏まえ、計画作成者が介護計画原案を作成している。計画作成者が毎月のモニタリングを集約し、6ヶ月毎の計画を見直している。法人内研修のサポート体制により、アセスメントの研修がある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日常生活状況、個別記録にケア内容等を記載し職員が引継ぎ、記録にて御入居者個別の情報の共有し介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>コロナ禍が落ち着いた際の外出、外泊時には御家族（同伴者）への適切な介助方法の伝達や福祉用具の貸し出し等を行っている。受診や入院等の緊急的な事が発生した時も御本人様、御家族と連携を図り柔軟な支援に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍が落ち着いた際に、近所のスーパーへの外出や散歩で近隣の方への挨拶を積極的に行っていた。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>2週間に1回、法人内のクリニック医師の訪問診療を受けられている。体調に変化が発生した場合は、その都度、訪問看護師を通じて主治医に状態報告をしており、指示がある場合は速やかに受診介助等の対応に努めている。また、御本人様、御家族からの不安に対して直接、主治医より説明を頂いている。</p>	<p>利用開始時に相談し、殆どの利用者が事業所の法人内のクリニックをかかりつけ医としている。毎週の訪問歯科、訪問看護や月2回の訪問診療と緊急時の対応など24時間連携体制を図っている。医療情報については、アプリを活用することで迅速に対応できるシステムを構築している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	医療連携で訪問看護師が2週間に1回、健康状態の確認、把握を行っている。御利用者の体調管理について相談、助言を頂いている。24時間連絡が取れる体制になっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療連携で訪問看護師が2週間に1回、健康状態の確認、把握を行っている。御利用者の体調管理について相談、助言を頂いている。24時間連絡が取れる体制になっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居契約時に重度化した場合や看取りに関する意向の確認を行っている。先述の状況になった際は御本人、御家族、主治医、関係機関で話し合いを行い、書面にて確認を行い同意を頂いている。	法人内の動画研修での自己学習、年1回の研修をしている。看取りの経験もあり、希望があれば看取りを行う方針である。契約時に『終末期における事前確認書』を説明し了解を得ている。重度化した場合、その都度家族や医療関係者と方向性をよく話し合い、今後の方針を決めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応、報告手段の書式に基づき医療職や管理者に報告、連絡、相談する連宅体制を整えている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	特に夜間帯に起きた際を想定し地震火災の避難消防訓練を3月、9月に実施している。水災害に置いても新たに避難計画を作成し、今後訓練を行っていく予定である。	警備会社が立ち会い、地震から火災に至った想定での訓練をしている。2階に災害時用備蓄品を14日分準備している。特に大雨による水害が想定される時期は、地域包括支援センター職員から注意喚起がある。有事の際には法人エリア内で協力体制を築いている。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	御利用者への尊厳に配慮した接遇には十分留意して接している。傾聴から始め受容する心がけ対応している。	動画研修で自己学習に努め、年間研修で職員の幅広い知識の習得と資質向上を図る体制もある。『お客様という意識をもって』日々対応している。居室は鍵が掛けられる設計で職員は居室に入る時は3回ノックをする、ドアを閉めるなど当たり前の行動が出来るようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	笑顔での対応を心がけている。御利用者の話を傾聴し、受容と共感の姿勢を持ち自己決定が出来る様、努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	可能な限り、御利用者の生活リズムに合わせて、安全を確認した上でその人らしい生活が送れる様、努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	コロナ禍に配慮しながら、適時、訪問理美容サービス業者に来所頂き、御本人の希望に応じてカット、毛染め、パーマ等の対応を頂いている。季節に応じた身だしなみが出来る様御家族にも衣替えの協力を頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	行事の際の下ごしらえ、米とぎや配膳、下膳、テーブル拭き等、出来る御利用者と一緒にしながら家庭的な雰囲気が少しでも感じて頂ける様、努めている。	真空低温調理された副食が届き、職員が仕上げ、主食と味噌汁を添えて提供している。毎月の行事食は、利用者個々に役割を持ち、配膳、片付けなど出来る事をしている。行事時には様々な食事を企画しており、焼肉パーティー、巻き寿司、中華パーティーなど食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	座位姿勢を確認しながら、御利用者の状 況に応じてクッション等の環境の工夫を 行い、御自身で食事・水分摂取が出来る 様に支援している。食事・水分摂取が難 しい方には御本人の好きな飲食物やゼ リー等、好きな物、食べやすい物を提供 している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアを実施している。義歯 使用の御入居者には定期的にポリデント を使用し義歯洗浄に努めている。訪問歯 科診療による口腔内の洗浄等指導も頂い ている。出来る限り自分で磨いて頂き磨 き残しについては支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	排泄のパターンを把握しトイレで排泄出 来る様、努めている。ファンレストテー ブルを使用することによってトイレでの 排泄を促進できている。なるべく布パン ツ+パットを使用しストレスの無いよう に努めている。	トイレに座る事を基本に本人の状態像に 合わせた排泄の自立支援を行っている。 各トイレには無理なく排泄が出来るよう 前傾姿勢が保持出来るテーブルが設置さ れている。なるべく布パンツ+パットを 使用し、安易に紙おむつを使用すること がないように慎重に検討している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	職員全体で便秘の原因や及ぼす影響に関 する認識は持っている。食事・水分を摂 取に加え、遊びリテーション、体操、 歌、散歩・施設内の廊下歩行等の活動 を行い、便秘予防につながる様、努めてい る。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	可能な限り希望に沿った入浴に努めてい る。声かけの工夫やタイミング、同性介 助等の配慮を行っている。入浴出来な かった方に対し足浴等でリラックス出来 る時間の提供を行っている。	週2～3回午後からの入浴を基本としてい る。希望があれば本人が好むシャン プー、化粧水、乳液、白髪染めシャン プーなど使用できる。皮膚トラブルや特 に夏時期は足浴を実施している。入浴後 は適宜、ジュース類など飲用する事で楽 しみを増やしている。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	御入居者の生活習慣や体力に応じて、いつでも居室やリビングのソファで休む事が出来る様、配慮している。夜間しっかり休んで頂ける様、居室の環境整備や日中の活動の提供を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	内服薬に変更があった場合に職員が把握できる様に記録に残している。効能についても理解できるように薬情をファイルに閉じている。変化があれば、その都度、主治医や看護師に報告し対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	食材切り、盛り付け、掃除等、役割を持って生活している実感を持って頂ける様、努めている。アクティビティ、散歩、買物等、外の空気を吸うことで季節を感じて頂き気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍に配慮しながらのホーム周辺の散歩、買物などの支援を行っている。個別支援では誕生日のお祝いで御本人様の行きたい所へご家族様と外出される等の支援を行っている。	感染状況に応じて職員体制や気候が良ければ周辺の散歩、買い物では仏壇のお花、お供え物を買いいに出掛けている。本人の誕生日には本人の行きたい所へ、例えば、お墓参りなどへ家族の協力のもと外出している。外出などコロナ感染症に見合った工夫をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金の持ち込みはできないが、一部、少額であるが御本人が管理をされコロナ禍に配慮しながら買物や自動販売機まで一緒に行っている。本人の意向があった際は、御家族に確認をとり立替金で必要な物を購入している。		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>御家族等の事情に配慮しながら、御本人からの電話の支援をしたり、先方から電話がある際には御本人に取り次いでいる。御入居者に届いた手紙やはがき等は本人にお便りをしたり、朗読させて頂いている。</p>	/	
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有の生活空間は、清潔を保ち御入居者が混乱されない様いつもと変わらない空間に配慮している。また、季節感が出るように飾り付け等にも工夫をしている。TVだけでなく食事の前やレクリエーションで歌を歌っている。</p>	<p>共有スペースは明るく、行事写真を掲示し、季節の飾り付けがされ、掃除、温度、湿度、換気など配慮している。椅子、テーブルを高さ別に用意し、利用者の身体に見合った高さで使用出来るようにしている。行事又は利用者の状態に応じて、テーブルの位置、席の配置などレイアウトを工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングにソファを設置し御入居者様のくつろげる空間作りに努めている。安全に配慮した上で、机のレイアウト、気の合う御利用者との談話出来る様に席の配置を行っている。</p>	/	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>御入居者様のなじみのある使い慣れた家具や飾り、写真等を御持参頂き可能な限り自宅に近い環境づくりに努めている。</p>	<p>利用開始時に相談し、居室は自宅の住居環境に近い部屋になるように、使い慣れた品物、家族の写真など生活習慣にも配慮し、安心して過ごして頂けるよう工夫している。ある居室は、収納ボックスを娘さんがリメイクしていた。使い慣れた物を依頼しており自由に持ち込みをしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>御利用者様お一人お一人の今ある力が十分に発揮でき自由に行動出来る様、動線上の障害物に配慮し可能な限り、広々とした空間が維持できる様に努めている。</p>	/	

V アウトカム項目(Aユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人の経営理念を各ユニットに明示し朝礼時に唱和を行い、理念の共有、実践につながる様、努めている。当事業所のサービス方針及び事業計画を作成し計画に基づいたサービスが提供でき理念の達成にむかう様、努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	コロナが落ち着いた際は近隣のスーパーや公園に職員と散歩や外出していた。施設内での行事に力を入れ、庭の畑での野菜作りや草取りなどを隣家のお力添えを頂いている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	施設見学希望や入居申込のお問い合わせでは、グループホームでの生活、認知症ケアについて理解して頂ける様に丁寧に説明する様に努めた。介護に関する相談を受けた際にも誠意を持って対応をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議を书面開催し、頂いたご意見や地域の活動状況を御利用者の日常のケアやサービス向上につながる様に努めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議へ書面や電話連絡での説明・参加・意見聴取に努め、通常開催が可能になった際は、積極的な情報収集やコミュニケーションを図れる様、努めている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所内研修等で身体拘束について学ぶ機会を設け情報の共有を行っている。現時点で身体拘束はないが今後も行われたい様、努めている。運営推進会議では委員会を開き、参加者の方にも意見を頂いている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	法人内外の研修で情報の共有を行い、御利用者のペースに合わせ、寄り添ったケアに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度等、現在、利用されている御利用者はいないが、今後、必要性が出た時に対応出来る様、制度の理解と御家族等関係者と連携を図っていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書及び契約書、各種同意書を提示し具体的に説明するよう努めている。御利用者、御家族からの不安や疑問点は解消出来る様、適切な説明に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	御家族、面会時には、御入居者の状態報告に併せて、御家族の意向をお聞きする様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	各ユニットのミーティング開催時に管理者が出席し職員の意見を聞き、都度、運営に反映できる様に努めている。ミーティング事前に書面でリーダー中心に意見を聴取し開催を行っている。尚、出席出来なかった職員も把握出来る様、議事録を作成し回覧ができるように努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員がチャレンジシートという年度目標を立て達成に向け取り組んでいる。それに加え、考課表、職務チェックリストでの評価制度があり昇給に反映につなげている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内で教育研修部があり、年間の内部研修の計画があり参加しやすい環境にある。外部研修について職員個別の研修費が予算化しており、職員が自ら意図した研修に参加できる体制がある。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	リモート開催などで法人内・外の研修にて他部署や他事業所（同業者）との意見交換を行い、サービスの質の向上に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前の訪問面談時は管理者、訪問看護師（可能であれば計画作成担当やリーダーも同席）で伺い疑問点や不安な事等、話が出来、適切なアセスメントが行える様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前や契約時等で御家族の要望や不安等を聞き、入居前に頂いた情報を職員間で共有し安心出来るサービスが受ける事が出来る様、努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居相談時、事前面談、契約時等で伺った内容、アセスメントシートを活用しその時に必要なサービスの提供や紹介を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	人格を尊重して共に生活をする視点を忘れず、接遇にも十分配慮している。御本人の生活習慣を把握し、日々の生活の中で取り込まれる様に支援をしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会や電話連絡の際、体調の変化や日々の様子をお伝えする様、御家族より質問や相談に対応ができる様努めている。御本人、御家族との時間を大切にし外出や居室で一緒に食事ができる様、支援をしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御家族様以外にも、自宅で過ごしていた時の近所の方や馴染みの方が来所され受け入れを行っている。面会の際は会話の支援を行い継続して御面会頂けるような雰囲気づくりに努めている。個別ケアとして馴染みの場所へ外出出来る様支援している。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	リビング内での空間や席の配置を行っている。御利用者同士が関わりが持てる様、職員が声かけ時には会話の橋渡しを行い、支え合えるような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去の際には気軽に立ち寄って頂ける様、話をしている。また可能な限りその後の経過、次の生活場所の支援者に対する適切な情報提供など協力を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御本人の思いを把握し日常生活に取り入れる様にしている。意思疎通や認知症状の部分で把握が難しい場合は普段の生活状況や生活歴や御家族からの情報をもとにミーティングで話し合いを行い支援に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御本人様、御家族、関係事業所から御本人の生活歴や生活環境等、情報収集しホームでの生活に活かせる様、努めている。また、入居してから御本人とのコミュニケーションを図りながら新たに分かった情報を共有し支援に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々、御入居者の様子観察に努めている。職員が把握した情報は i pat 上の生活状況記録、申し送り等で職員間で情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>御本人様、御家族の意向、要望をお聞きしている。担当職員の意見も合わせて御本人の生活課題と適切な支援のありかたを具体的に記載している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日常生活状況、個別記録にケア内容等を記載し職員が引継ぎ、記録にて御入居者個別の情報の共有し介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>コロナ禍が落ち着いた際の外出、外泊時には御家族（同伴者）への適切な介助方法の伝達や福祉用具の貸し出し等を行っている。受診や入院等の緊急的な事が発生した時も御本人様、御家族と連携を図り柔軟な支援に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍が落ち着いた際に、近所のスーパーへの外出や散歩で近隣の方への挨拶を積極的に行っていた。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>2週間に1回、法人内のクリニック医師の訪問診療を受けられている。体調に変化が発生した場合は、その都度、訪問看護師を通じて主治医に状態報告をしており、指示がある場合は速やかに受診介助等の対応に努めている。また、御本人様、御家族からの不安に対して直接、主治医より説明を頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	医療連携で訪問看護師が2週間に1回、健康状態の確認、把握を行っている。御利用者の体調管理について相談、助言を頂いている。24時間連絡が取れる体制になっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療連携で訪問看護師が2週間に1回、健康状態の確認、把握を行っている。御利用者の体調管理について相談、助言を頂いている。24時間連絡が取れる体制になっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居契約時に重度化した場合や看取りに関する意向の確認を行っている。先述の状況になった際は御本人、御家族、主治医、関係機関で話し合いを行い、書面にて確認を行い同意を頂いている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応、報告手段の書式に基づき医療職や管理者に報告、連絡、相談する連宅体制を整えている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	特に夜間帯に起きた際を想定し地震火災の避難消防訓練を3月、9月に実施している。水災害に置いても新たに避難計画を作成し、今後訓練を行っていく予定である。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	御利用者への尊厳に配慮した接遇には十分留意して接している。傾聴から始め受容する様心がけ対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	笑顔での対応を心がけている。御利用者の話を傾聴し、受容と共感の姿勢を持ち自己決定が出来る様、努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	可能な限り、御利用者の生活リズムに合わせて、安全を確認した上でその人らしい生活が送れる様、努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	コロナ禍に配慮しながら、適時、訪問理美容サービス業者に来所頂き、御本人の希望に応じてカット、毛染め、パーマ等の対応を頂いている。季節に応じた身だしなみが出来る様御家族にも衣替えの協力を頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	行事の際の下ごしらえ、米都議とぎや配膳、下膳、テーブル拭き等、出来る御利用者と一緒にしながら家庭的な雰囲気少しでも感じて頂ける様、努めている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	座位姿勢を確認しながら、御利用者の状 況に応じてクッション等の環境の工夫を 行い、御自身で食事・水分摂取が出来る 様に支援している。食事・水分摂取が難 しい方には御本人の好きな飲食物やゼ リー等、好きな物、食べやすい物を提供 している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアを実施している。義歯 使用の御入居者には定期的にポリデント を使用し義歯洗浄に努めている。訪問歯 科診療による口腔内の洗浄等指導も頂い ている。出来る限り自分で磨いて頂き磨 き残しについては支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	排泄のパターンを把握しトイレで排泄出 来る様、努めている。ファンレストテー ブルを使用することによってトイレでの 排泄を促進できている。なるべく布パン ツ+パットを使用しストレスの無いよう に努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	職員全体で便秘の原因や及ぼす影響に関 する認識は持っている。食事・水分を摂 取に加え、遊びリテーション、体操、 歌、散歩・施設内の廊下歩行等の活動 を行い、便秘予防につながる様、努めて いる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をして いる。	可能な限り希望に沿った入浴に努めて いる。声かけの工夫やタイミング、同性介 助等の配慮を行っている。入浴出来な かった方に対し足浴等でリラックス出 る時間の提供を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	御入居者の生活習慣や体力に応じて、いつでも居室やリビングのソファで休む事が出来る様、配慮している。夜間しっかり休んで頂ける様、居室の環境整備や日中の活動の提供を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	内服薬に変更があった場合に職員が把握できる様に記録に残している。効能についても理解できるように薬情をファイルに閉じている。変化があれば、その都度、主治医や看護師に報告し対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	食材切り、盛り付け、掃除等、役割を持って生活している実感を持って頂ける様、努めている。アクティビティー、散歩、買物等、外の空気を吸うことで季節を感じて頂き気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍に配慮しながらのホーム周辺の散歩、買物などの支援を行っている。個別支援では誕生日のお祝い御本人様のいきたい所へご家族様と外出される等の支援を行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金の持ち込みはできないが、一部、少額であるが御本人が管理をされコロナ禍に配慮しながら買物や自動販売機まで一緒に行っている。本人の意向があった際は、御家族に確認をとり立替金で必要な物を購入している。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>御家族等の事情に配慮しながら、御本人からの電話の支援をしたり、先方から電話がある際には御本人に取り次いでいる。御入居者に届いた手紙やはがき等は本人にお便りをしたり、朗読させて頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有の生活空間は、清潔を保ち御入居者が混乱されない様いつもと変わらない空間に配慮している。また、季節感が出るように飾り付け等にも工夫をしている。TVだけでなく食事の前やレクリエーションで歌を歌っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングにソファを設置し御入居者様のくつろげる空間作りに努めている。安全に配慮した上で、机のレイアウト、気の合う御利用者で談話出来る様に席の配置を行っている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>御入居者様のなじみのある使い慣れた家具や飾り、写真等を御持参頂き可能な限り自宅に近い環境づくりに努めている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>御利用者様お一人お一人の今ある力が十分に発揮でき自由に行動出来る様、動線上の障害物に配慮し可能な限り、広々とした空間が維持出来る様に努めている。</p>		

V アウトカム項目(Bユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームふれあい東野

作成日 令和5年4月24日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域住民との交流が少ない現状がある。	コロナ収束後の町内会行事への参加。	民生委員やご近所からの協力を仰ぎ、町内会に参加する。	6か月
2	10	事業所の活動内容がご家族様へうまく伝わっていない。	日々の生活や行事での御様子を伝え、ご家族の意見をより反映させていく。	毎月のモニタリングやお手紙・電話での連絡内容の充実させ、介護計画に活かす。	3か月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。